

## マクロ経済状況まとめ

- ① 2020年4月の工業生産指数（IIP）は前年比10.5%減少し（※2019年4月のIIPは前年比9.3%の増加）、マイナスの成長率を記録した。新型コロナウイルスの流行により輸入原材料の供給源が影響を受け、工業生産は縮小し、4月の製造部門のIIPは前年比11.3%の減少。それに加えて、4月の電力、ガス供給はマイナス成長を記録し、2019年4月の12.4%の成長率と比べたら、大幅の6.9%の減少であった。ただし、給水および廃棄物処理部門は、4月に2%増加した。
- ② 4月の登録済み直接投資額FDIは大きく増加した。なぜかというところ、生産が少しずつベトナムへシフト傾向もあり、登録FDI金額は約9800億円、前年同期比32.2%増加した。実際支出したFDIは1550億円となり、昨年と比べ9.6%減少した。
- ③ 銀行間為替レートは安定している。
- ④ 4月の消費者物価指数（CPI）はガソリン価格の下落、新型コロナウイルスの拡大により、引き続き前月比1.55%の減少。セクター別でみると、一番CPI減少率の大きいのが、輸送部門で前月比13.86%減少した。一方、2020年4月までのCPI平均は、昨年の平均4か月と比較して、4.9%増加した。2020年4月まで累積の平均コアCPIは前年比2.96%でした。これは2月のお正月のCPIが高い水準でプラスしたためである。

## ベトナム中央銀行（SBV）は5月13日から金利引き下げ

新型コロナウイルス・パンデミックによるマイナスの経済的影響を受け、不況となる可能性を防ぐために、世界各国の政府と世界中の中央銀行は景気刺激策を実施した。ベトナム中央銀行（SBV）も主要な金利を引き下げることを選んだ。SBVは5月12日（火）は、一連の2020年5月13日から適用される主要金利の引き下げ（2020年には2回目）が実施された。

利息項目		変更前	1回目の利下げ	2回目の利下げ
Refinancing rate	政策金利（リファイナンス・レート）	6.00%	5.00%	4.50%
Discount Rate	割引レート	4.00%	3.50%	3.00%
The Over-night Interest rate in the inter-bank Electronic payment	銀行間電子決済翌日金利	7.00%	6.00%	5.50%
OMO offering interest rate	OMO金利	4.00%	3.50%	3.00%

（データはSBV発表より作成）

新型コロナウイルスの発生で、レストラン・ホテル・旅行会社・スパの観光業界や運輸業（一時タクシーは、利用禁止に近い時もあった）のサービス業に悪影響を及ぼしたため、SBVはマクロ経済の安定化、事業と経済成長の支援、および負債負担の軽減に向けて上記政策を実施したと考えられる。消費削減という点での需要ショックと、製造活動の低さという点での供給ショックの両方が起きたため消費者の心を支えるための金利政策と見られる。新型コロナウイルスが国内収束しているとしても、第二波に恐れもまだある状況の中、企業が生き残れるが優先課題である。

そして、SBVは新型コロナウイルスの影響に対処するため銀行システムを強化し、銀行および銀行システムの資金コストを削減することも狙いとなっている。そのほか、景気後退の可能性に長期的に対応するために、国家予算の負担を軽減し、今後の財政政策と公共支出のための資金を準備したいと見られる。

ゲン ベトハ

ニューズ証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

News20200514

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものでありますが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、当社所定の取扱手数料が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。